

## 構造物取り壊し工

- ・ 構造物取り壊し工（圧碎機・大型ブレーカによる取り壊し） ..... 1 1 9
- ・ 構造物取り壊し工（ワイヤーソウによる取り壊し） ..... 1 2 2
- ・ 構造物取り壊し工（カッターによる取り壊し） ..... 1 2 3

本マニュアル（案）は、施工現場における事故発生要因の発見・対処に関して担当者を支援する目的で作成したものであり、個別の工事現場の安全対策を規定するものではない。

本来、施工現場における安全対策は個別の現場条件に合わせて対策されるものであるが、本マニュアルでは標準的な施工手順において一般的に執られている対策を取りまとめたものであり、安全担当者が更なる工夫を加えることで、一層安全性を向上させることが肝要である。

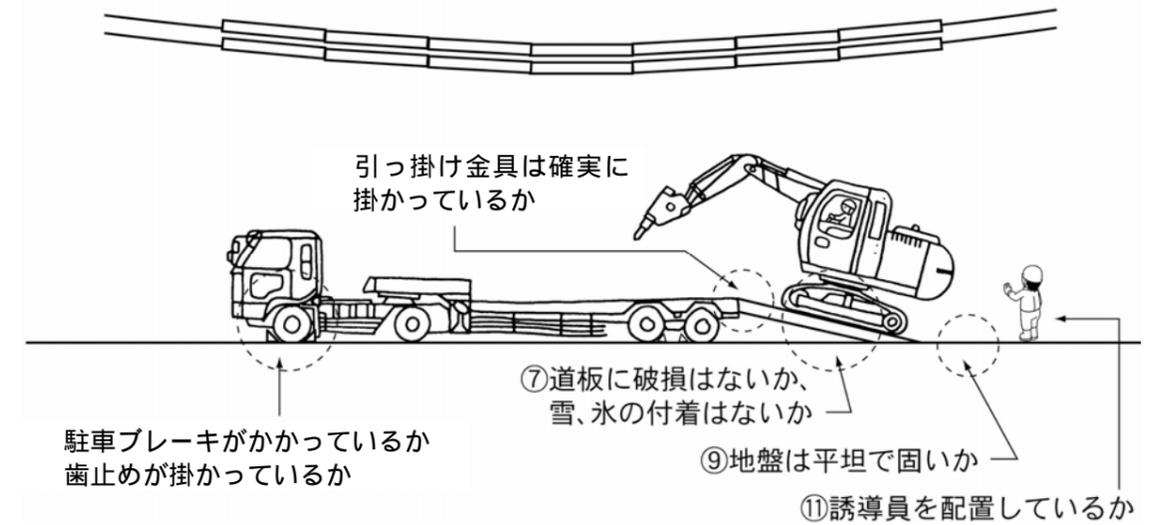
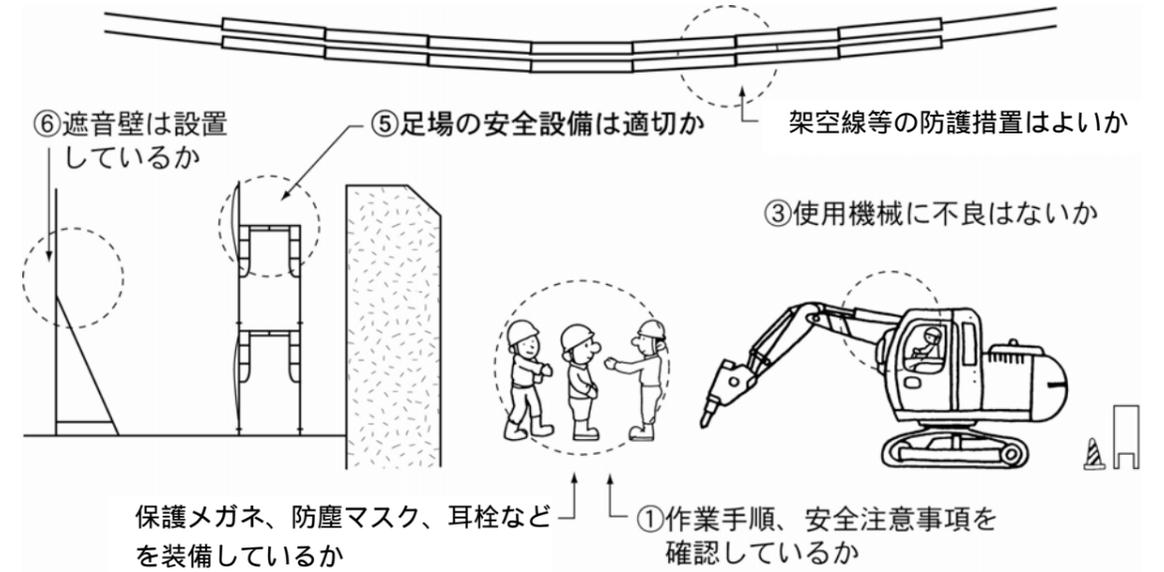


構造物取壊し工  
(圧砕機・大型ブレーカによる取壊し)

確認年月日： \_\_\_\_\_  
天 候： \_\_\_\_\_

記入者 \_\_\_\_\_

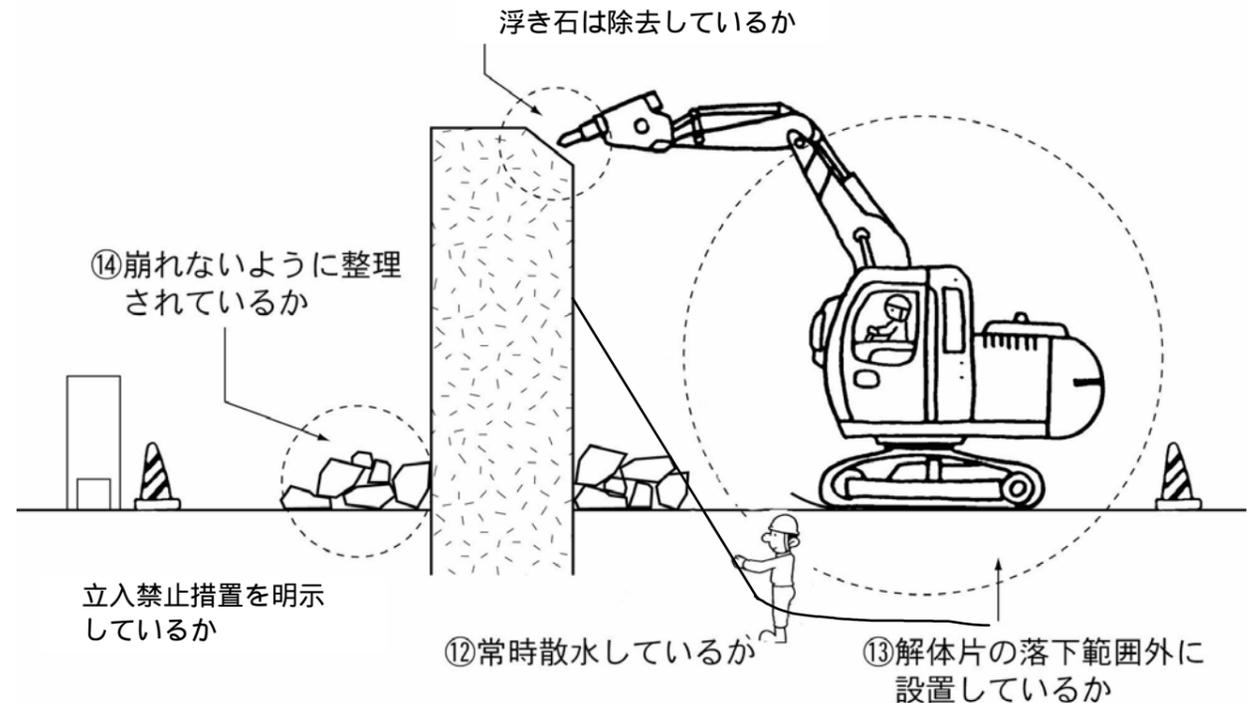
作業工種	作業手順	安全確認事項	チェック欄			
1. 準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業前ミーティングの実施</li> <li>服装の点検</li> <li>資機材の点検</li> <li>架空線、地下埋設物を確認</li> <li>安全設備の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業方法・作業手順・安全注意事項を確認する。( )</li> <li>作業半径内に関係者以外の立入禁止の措置をする。( 則 158 )</li> <li>堅固な防護金網、柵等の措置をする。( 則 517 の 16 )</li> <li>資格・免許の確認と役割を明示する。( 令 20 )</li> <li>玉掛け・機械始動・停止等の合図を確認する。</li> <li>安全帯、防護メガネ、防塵マスク、防振手袋、耳栓、保安帽、安全靴などを点検する。( )</li> <li>作業当事者のみならず、近接作業者にも必要に応じて保護具使用を徹底する。</li> <li>使用機械を点検する。( )</li> <li>火気使用時は消火器を準備する。</li> <li><b>機械等の接触防止、防護措置をする。( )</b></li> <li><b>足場、安全ネット及びシート、手摺等の安全を確認する。( )</b></li> <li>遮音養生材、飛散防止対策、照明設備を点検する。( )</li> <li>屋内作業の場合、換気装置の稼働を確認する。</li> <li>強風、大雨、大雪等の悪天候により危険が予想される時は作業を中止する。</li> </ul>				
2. 重機搬入	<ul style="list-style-type: none"> <li>道板などの点検</li> <li>重機積降ろし</li> <li>重機を解体ヤードに設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械等の接触防止、防護を実施する。( )</li> <li>道板の破損、付着物の除去を確認する。( )</li> <li>引っ掛け金具の装着部を確認する。( )</li> <li>積降し地盤の安定及び位置を確認する。( ) ( 則 157 )</li> <li>廻送車の駐車ブレーキ、タイヤの歯止めを確認する。( )</li> <li>道板は十分な長さ、幅及び強度及び勾配を確保する。</li> <li>誘導員を配置し、関係者以外立入禁止措置をする。( )</li> <li>道板は適当な勾配で確実にとりつけ、道板上での方向修正を行わない。</li> <li>道板と履帯位置、重機進路方向を確認する。</li> <li>盛土、架設台等の使用は、十分な幅、強度並びに適当な勾配を確保する。</li> <li><b>重機が床版に載る場合、床版強度を確認し実施する。</b></li> <li>軟弱地盤上で作業する場合、地盤養生を実施する。</li> </ul>				



(記事欄)

(記事欄には、確認の結果対処した事項を記入する事)

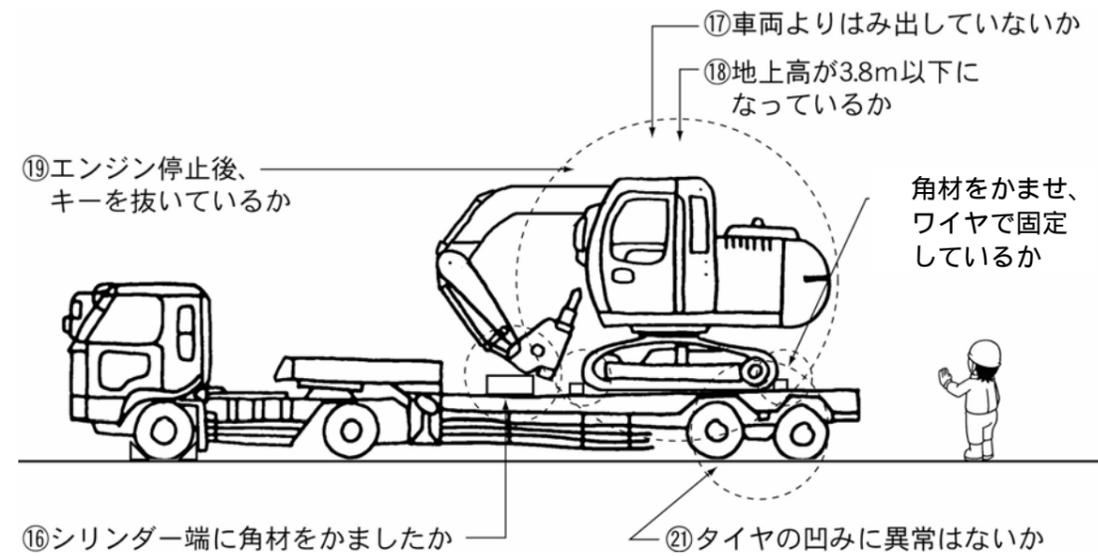
作業工種	作業手順	安全確認事項	チェック欄			
重機搬入	・作業周辺の安全措置の実施	・安全看板、カラーコーン、カラーフェンスで立入禁止範囲を明示する。 ・ <b>転倒、転落を防止する。</b> ・破片飛散も考慮して立入禁止範囲を決定する。				
3.解体工 圧砕機・大型ブレーカによる取壊し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンを始動</li> <li>・構造物を大きく解体</li> <li>・アタッチメントの交換、機械点検</li> <li>・解体片を小割作業</li> <li>・解体片の積込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン始動の際、警告のためホーンを鳴らす。</li> <li>・誘導員を配置し、関係者以外立入禁止措置をする。( )</li> <li>・粉塵防止、常時散水を実施する。( )</li> <li>・<b>倒壊範囲の予測、作業員・重機は安全作業位置へ設置する。( )</b></li> <li>・解体片は適宜整理し、崩壊防止に努める。( )</li> <li>・休止・終了時は、解体物の安定(転倒防止、浮き片除去)を確保する。( )</li> <li>・キャブ前面に防護装置を装備する。</li> <li>・散水栓、ホース取回しを確認する。</li> <li>・重機に近接して作業する場合、重機を停止する。</li> <li>・重機との接触等防止するため、誘導員を配置する。</li> <li>・作業再開前、解体物の安定(転倒、剥落はないか)を確認する。</li> <li>・研ったコンクリート塊の上を安易に歩かない。</li> <li>・点検中はアタッチメントの着地、安全レバーロック、エンジン停止する。</li> <li>・積込み能力に余裕を持たした大きさに小割りする。</li> <li>・小割り解体片の崩壊を防止する。</li> <li>・<b>落差の大きい施工場所では破壊解体片の落下に伴う破砕飛散に対する防護を行う。</b></li> <li>・運転者と手順、作業量、積載能力、作業合図等を確認する。</li> <li>・過積載にならないよう、積載量を確認する。</li> <li>・積込み解体片の安全を確認する。</li> </ul>				



(記事欄)

(記事欄には、確認の結果対処した事項を記入する事)

作業工種	作業手順	安全確認事項	チェック欄			
4.重機搬出	<ul style="list-style-type: none"> <li>道板の点検</li> <li>重機を迴送車に積込む</li> <li>エンジン停止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道板の破損、付着物の除去を確認する。</li> <li>引っ掛け金具の装着部を確認する。</li> <li>積降ろし地盤の安定及び位置を確認する。</li> <li>迴送車の駐車ブレーキ、タイヤの歯止めを確認する。</li> <li>道板は十分な長さ、幅、強度及び勾配を確保する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>バケットを降ろす際、バケットシリンダー端に角材等をかませ、直接、床面に設置しない。( )</li> <li>積載時、重機が車両幅よりはみ出していないことを確認する(道交法施行令)。( )</li> <li>積載時、重機高が保安規準により定められる地上3.8m以下であることを確認する。( )</li> <li>道板がキャタピラー位置に合っていること、重機進路方向は道板に合っていることを確認する。</li> <li><b>道板上では方向修正を行わない。方向修正する場合は、元に戻し地上で行う。</b></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンジン停止後、必ず「キー」を抜く。( )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両が動かないようにキャタピラに角材をかませ、ワイヤで固定する。( )</li> <li>迴送車のタイヤの凹みに異常がないことを確認する。( )</li> </ul>				



(記事欄)

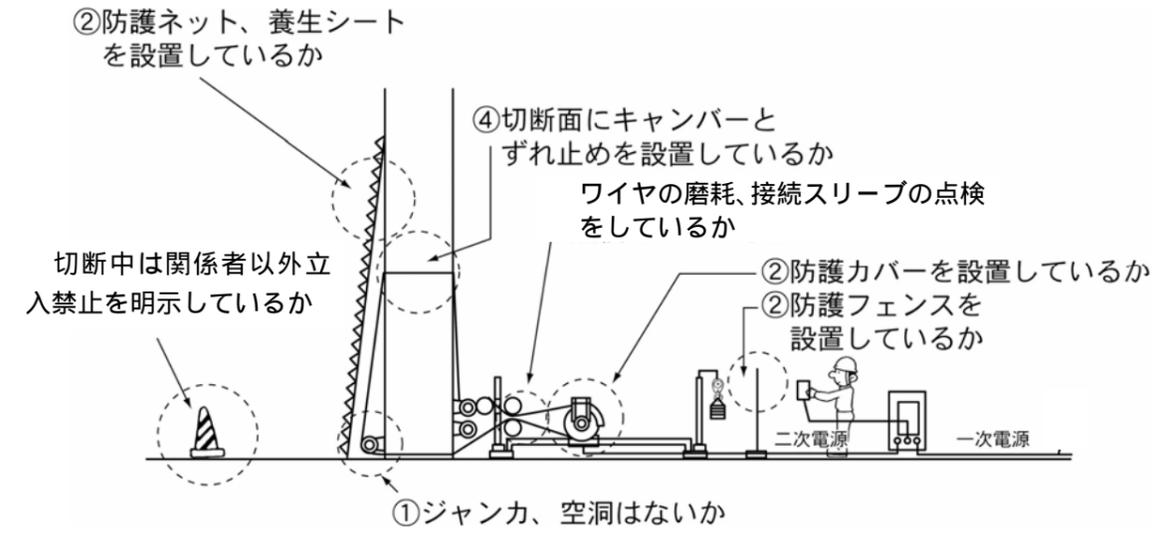
(記事欄には、確認の結果対処した事項を記入する事)

構造物取壊し工  
(ワイヤソーによる取壊し)

確認年月日：  
天 候：

記入者

作業工種	作業手順	安全確認事項	チェック欄			
1.ワイヤソーによる取壊し	<p>(1)ワイヤソー設置 ・ガイドプーリの設置</p> <p>(2)切断作業 ・試運転の実施 ・切断を行う ・ワイヤを点検、交換</p> <p>(3)小割作業</p> <p>(4)積み込み作業</p> <p>(5)片付け作業 ・ワイヤ、機械等の片付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンカー設置時は、ジャンカ、空洞等を確認する。( )</li> <li>・本体の設置カバー、回転方向の防護フェンス、ネット等を設置する。( )</li> <li>・切断面角付近は、冷却水の飛散があるのでシート等を設置して飛散防止の養生をする。</li> <li>・高所作業の際は安全帯を使用する。</li> <li>・ワイヤの状態検査実施と確実に設置する。</li> <li>・機械停止の確認、設置作業中を明示する。</li> <li>・<b>ワイヤとプーリの間に指を挟まぬよう注意する。</b></li> <li>・スリーブ圧着が確実であるかを目視確認する。</li> <li>・ワイヤに緩みが生じないよう、2、3人で引いてまわせる程度までワイヤを張る。</li> <li>・躯体に外れ止め取付け用アンカーを事前配置する。</li> <li>・電源ケーブルの取回し経路、保護を確認する。</li> <li>・<b>切断中は監視員を配置し、関係者以外立入禁止とする。( )</b></li> <li>・切断の進行に合わせ、適宜切断面へのキャンバー打込み、ずれ止めを設置する。( )</li> <li>・点検の際は特に接続スリーブの断面減少に注意する。( )</li> <li>・試運転を行い、ワイヤソーマシン、プーリ、ワイヤの正常作動を確認する。</li> <li>・破断防止のため早めの点検、交換を実施する。</li> <li>・<b>交換は電源OFFを確認、交換作業中を明示する。</b></li> <li>・積み込み能力に余裕を持たした大きさに小割りする。</li> <li>・小割り解体片の崩壊を防止する。</li> <li>・<b>落差の大きい施工箇所では、破壊解体片の落下に伴う破砕、飛散に対する防護を行う。</b></li> <li>・運転者と手順、作業量、積載能力、作業合図等を確認する。</li> <li>・過積載にならないよう、積載量を確認する。</li> <li>・解体片の安定を確認する。</li> <li>・片付けは電源 OFF を確認後とし、片付け作業中を明示する。</li> </ul>				



(記事欄)

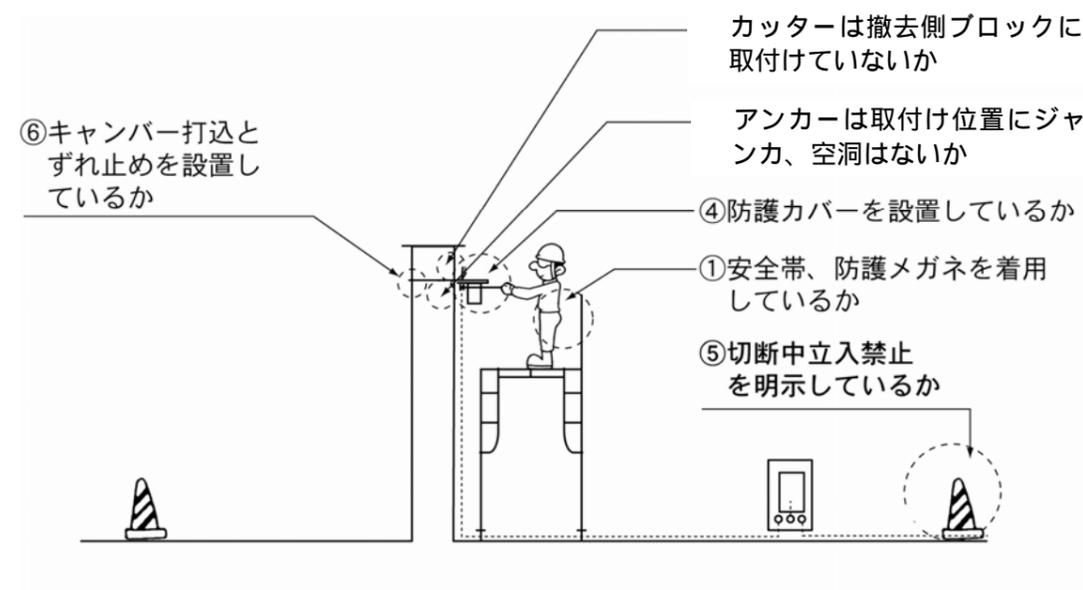
(記事欄には、確認の結果対処した事項を記入する事)

構造物取壊し工  
(カッターによる取壊し)

確認年月日： \_\_\_\_\_  
天 候： \_\_\_\_\_

記入者 \_\_\_\_\_

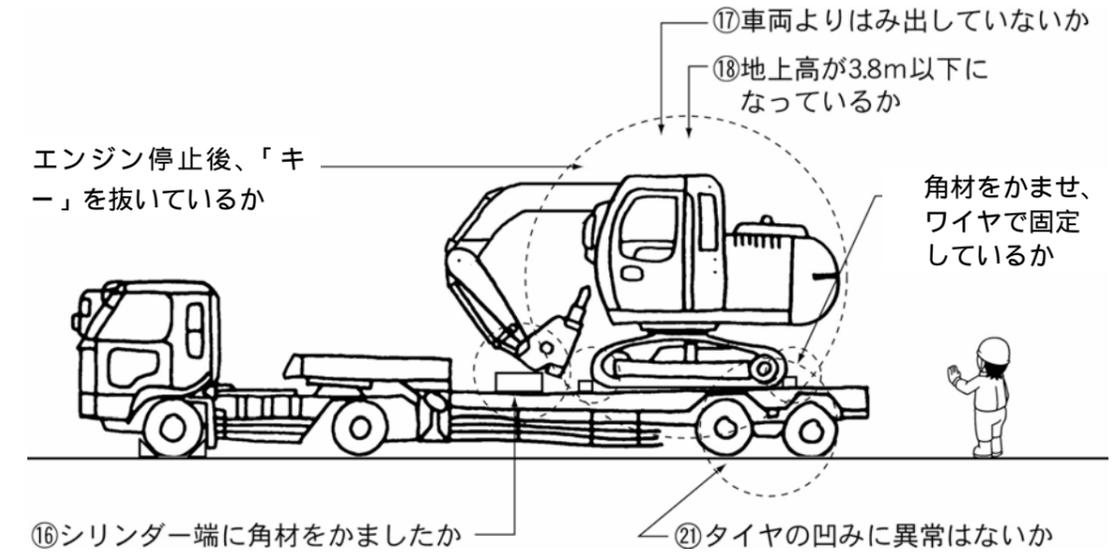
作業工種	作業手順	安全確認事項	チェック欄			
1.カッターによる取壊し	(1)カッター取付け ・カッターを躯体に取付け  ・外れ止めアンカーを設置  (2)切断作業 ・試運転を行う ・切断を開始 ・ブレードを交換  (3)小割作業  (4)積み込み作業  (5)片付け作業 ・カッターを取外す	・安全带及び防護メガネを使用する。( ) ・撤去側躯体ブロックへのカッター取付けを禁止する。( ) ・アンカー設置時は、ジャンカ、空洞等を確認する。( ) ・ブレード、防護カバーを確実に設置、特にブレード固定用ナットは十分に締付ける。( ) ・ギアボックス、モーター設置時の合図を確認する。 ・電源ケーブルの取回し経路、保護を確認する。 ・躯体に外れ止め取付け用アンカーを事前に配置する。 ・切断面付近にはシートを設置し、冷却水の飛散防止を図る。  ・ <b>切断中は監視員を配置し、関係者以外の立入禁止措置をする。( )</b> ・切断の進行に合せ適宜、切断面へのキャンバー打込み、ずれ止め設置を行う。( ) ・ブレードの正常作動を確認する。 ・ブレード周辺から作業員を避難させ、安全確認後実施する。  ・積み込み能力に余裕を持たした大きさに小割りする。 ・小割り解体片の崩壊を防止する。 ・ <b>落差の大きい施工箇所では、破壊解体片の落下に伴う破碎、飛散に対する防護を行う。</b> ・粉塵対策を行う。  ・運転者と手順、作業量、積載能力、作業合図などを確認する。 ・過積載にならないよう、積載量を確認する。 ・積み込み解体片の安定を確認する。  ・カッターの片付けは電源OFFを確認後とし、他者が不用意に電源を入れないよう明示する。				



(記事欄)

(記事欄には、確認の結果対処した事項を記入する事)

作業工種	作業手順	安全確認事項	チェック欄			
4. 重機搬出	<ul style="list-style-type: none"> <li>道板の点検</li> <li>重機を迴送車に積込む</li> <li>エンジン停止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道板の破損、付着物の除去を確認する。</li> <li>引っ掛け金具の装着部を確認する。</li> <li>積降し地盤の安定及び位置を確認する。</li> <li>迴送車の駐車ブレーキ、タイヤの歯止めを確認する。</li> <li>道板は十分な長さ、幅、強度及び勾配を確保する。</li> <li>バケットを降ろす際、バケットシリンダー端に角材等をかませ、直接、床面に設置しない。( )</li> <li>積載時、重機が車両幅よりはみ出していないことを確認する(道交法施行令)。( )</li> <li>積載時、重機高が保安規準により定められる地上3.8m以下であることを確認する。( )</li> <li>道板がキャタピラー位置に合っていること、重機進路方向は道板に合っていることを確認する。</li> <li><b>道板上では方向修正を行わない。方向修正する場合は、元に戻し地上で行う。</b></li> <li>エンジン停止後、必ず「キー」を抜く。( )</li> <li>車両が動かないようにキャタピラに角材をかませ、リヤ0°で固定する。( )</li> <li>迴送車のタイヤの凹みに異常がないことを確認する。( )</li> </ul>				



(記事欄)

(記事欄には、確認の結果対処した事項を記入する事)